

金沢市障害児通園施設 ひまわり教室

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援についての自己評価を公表します。

公表：令和8（2026）年2月28日

公表	児童発達支援事業	事業所における自己評価表	令和7（2025）年度
----	----------	--------------	-------------

事業所名	金沢市障害児通園施設 ひまわり教室			
保護者評価有効回答数	対象者数	17人	回答者数	17人
評価実施期間	2026年1月17日～2026年2月9日			
従業者評価有効回答数	対象者数	8人	回答者数	8人
事業所向け自己評価作成日	2026年2月17日～24日			

（1）保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

表1「保護者等からの児童発達支援事業所評価の回答の集計結果」（ ）内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	合 計
環境、体制整備（1～4）	61(89.7)	4(5.8)	1(1.5)	1(1.5)	1(1.5)	68(100)
適切な支援の提供（5～11）	114(95.8)	4(3.4)	0(0.0)	1(0.8)	0(0.0)	119(100)
保護者への説明等（12～22）	183(97.9)	1(0.5)	0(0.0)	2(1.1)	1(0.5)	187(100)
非常時等の対応（23～26）	68(100)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	68(100)
満足度（27～29）	50(98.0)	1(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	51(100)
合 計	476(96.6)	10(2.0)	1(0.2)	4(0.8)	2(0.4)	493(100)

（公表）以下は、各問いに対する保護者のみなさんの意見です。

環境・体制整備

1. こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 はい16（94%） どちらともいえない1（6%） 意見・「活動する部屋は広く整理されており、子どもたちもたくさん走り回れるスペースが確保されている」「部屋もいくつかあり、整理されている」「とても広く自由に動き回れていると思う」「活動の用途に合わせて使い分けています」「大きい部屋が2部屋あって、臨機応変に使われていてよいと思います」「歩く子が増えてくると少し狭いかな？と思います」「広いスペースがあり、自由に動き回れるようになっていきます」「広く動き回れるようになっており、活動に合わせて片付けもされています」「子どもたちが走り回ったり、補助器具を使用しての移動をしたりしても問題ないくらい広いです」
2. 職員の配置数は適切であると思いますか。 はい14（82%） どちらともいえない1（6%） いいえ1（6%） 無回答1（6%） 意見・「多くのスタッフがいて、統一されたかわりができている」「子どもが走って部屋から出ていっても無理に戻すのではなく、一人ついてくれて戻るように促すなどしており、適切であると思う」「子ども1、2人につき職員1人の割合で対応してくれている」「必ず通っている子全員に目が届くように配置されています」「ほぼ1人につき1人対応のような気がします。手厚いと思います」「少ないように思います。毎日当番の親が来て少し余裕があるのかな？と思ったりします。雑用してくれる人がいてもいいような…」「一人ひとりにしっかり目が行き届いていると思います」
3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境（こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫すること）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 はい15（88%） どちらともいえない2（12%） 意見・「活動する場所、トイレ、食事ときちんと分かれており部屋にも動物の名前がついていて子どもたちも理解しやすい」「部屋の目印に入口に子どもに分かりやすく絵で表示されている」「活動の用途に合わせて部屋を使い分けているし、自分で動けない子に対しても配慮されている」「車いす使用される子が車いすで

自由自在に動いている」「大きな子の、寝転んでおむつを替えられるスペースがあると嬉しい。寒くない場所で」「活動空間や物の配置をしっかりと分けているので、子どもにも分かりやすく、広い空間になっています」
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっていると思いますか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっていると思いますか。 はい16 (94%) わからない1 (6%)
意見・「いつもきれいで安心しておまかせできる環境」「いつもきれいに整頓されている」「清掃もきちんとされています」「掃除が行き届いていると思います」「清潔だと思います」「いつもきれいに掃除してあり、安心です」「こまめに清掃されています」「ほどよい快適さで、こどもにも分かりやすい配置をした空間造りをされています」

適切な支援の提供

5. こどものことを十分に理解しこどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 はい16 (94%) どちらともいえない1 (6%)
意見・「同じ障害でも、一人ひとりに合わせた支援を受けられている」「同じ活動でもその子に合うやり方を提供してくれている」「それぞれの子に合わせて支援して下さる」「いつも適切なアドバイス、対応をしてくれています」「先生方、皆さん知識をお持ちだと思います」「本当によく見て、子も親も支援してもらっています」「理解され、その子その子に応じた対応をされていると思います」「子どもの特性や性格を理解しながら自立心の向上を目指していただいています」
6. 事業所が公表している支援プログラム（事業所で行われている取組等について示し、公表する）は事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「合っていると思います」
7. こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていると思いますか。 はい16 (94%) どちらともいえない1 (6%)
意見・「個別の計画書が細かく分かれているが、すべてびっしり埋まっている」「細かい子どもの課題もみつめてくれて支援計画が作成されている」「2か月に1度支援計画を確認して、一緒に目標や課題を設定している」「子どもの特性や性格を理解し、自立心の向上を目指して、細かく理解していただいていると思います」
8. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「（7で述べた通り）子どもの特性や性格を理解し、自立心の向上を目指して、細かく理解していただいていると思います」
9. 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「（7で述べた通り）子どもの特性や性格を理解し、自立心の向上を目指して、細かく理解していただいていると思います」
10. 事業所の活動プログラム（日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動。こどもの発達の状況や障害特性に応じて柔軟に組み合わせて実施される）が固定化しないよう工夫されているか。 はい15 (88%) どちらともいえない2 (12%)
意見・「週に1度しか通所していないが、いつも色々な遊び（プログラム）をさせてもらい楽しそうに参加している」「1週間のローテーションで組まれている」「日によって違った取り組みをしています」「前回の当番の日は絵具遊びをさせてくれていてワクワクしました。毎日違う遊びを取り入れて下さっています」「毎日違うことをされていますが、新しい遊びが加わっていないような…?」「子どもがその時興味を持っていることをうまく取り入れようとしてくださっていると思います」「子どもたちが楽しく参加できるよ

う、常に工夫されていると思います」
11. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 はい16 (94%) わからない1 (6%)
意見・「近くの公園へ行き、園庭で一緒に遊んだり、公園や施設に行ったりした際、他の子と遊んだ様子を聞き、たくさん経験をさせてもらっている」「近くの園の子たちが時々来て一緒に遊ぶ機会がある。日頃も公園や児童館に出かけている」「近くの子ども園と交流もあります」「土曜日にいろいろな場所に出かけて、一般の方に混じりたくさんの楽しい経験をさせてもらっています」「わが子はありませんが、他の子が交流に行っていってらっしゃるのを知っています」「近くの若草幼稚園と交流があります」「若草幼稚園の子どもたちとよく交流しているイメージがあります」

保護者への説明等

12. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 はい16 (94%) どちらともいえない1 (6%)
意見・「通所開始時に、責任者の方が細かくかみくだきながら説明してくれました」「入る前にありました」「保護者会費の説明がなかったような？1000円は働いていない身としては大きいです」「丁寧にご説明頂きました」「細かくご説明いただいています」
13. 児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 はい17 (100%)
意見・「きちんと説明してもらっている」「2か月に1回支援内容をまとめたものをいただいている」「細かくご説明いただいています」
14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム・ペアレント・トレーニング等が行われていますか。 はい16 (94%) わからない1 (6%)
意見・「2か月に1回近況を話し合ったり、先輩方の就学時の話を聴いたりして、色々情報を得ています」「講師の方を招いて研修会も開かれている」「2か月に1回の勉強会があります(学習会)」「十分すぎるくらい行われています」「頻繁に行われていると思います」
15. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合いこどもの発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「送迎時など短い時間の中でも近況を話したり、面談時にくわしく話したりと、十分できている」「体調不良時などおたよりにて伝え、対応していただいている」「日々の出来事、様子を伝えて下さる」「月に1回の面談があり、お話ができます」「1カ月に1回の面談では自分の思っている事や悩みをその都度話せて、先生も子どもの様子をよく見て下さっていていろいろ聞けたり話せたりするのもありがたいです」「送迎時にお話しいただけています」「少しの変化も見逃さず、おむかえの際におしえて下さいます」「とても理解いただけていると思います」
16. 定期的に、面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 はい17 (100%)
意見・「必ず月1回面談があり、自由に話すことができる」「月1回に1時間面談があり、アドバイス等してもらっている」「月に1回面談があり、相談にのっていただいている」「月に1回の面談があり、お話ができます」「面談では助言というよりは話を聴いて下さるというスタンスです」「月1回面談日があり、相談させていただいています」「毎月相談日があり、助かっています」「月に1回の面談に加え、ふだんからお話や相談がしやすいと思います」
17. 事業所の職員から共感的に支援されていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「否定など一切なく、いつも親身になって支援してもらっている」「面談以外にも支援していただいている」「いつもたくさんのアドバイスをいただいています」「いつもよりそって下さいます」「いつもたくさんのアドバイスをいただいています」「一緒に育てていただいていると強く思えるくらいご支援いただいていると思います」
18. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族へ

の支援がされているか。またきょうだい向けのイベントの開催等によりきょうだい同士の交流の機会が設けられるなどきょうだいへの支援がされていますか。 はい 17 (100%) 意見・「夫婦、きょうだい家族全員で参加できるようになっていて、きょうだいが楽しそうにしている」「以前は母がメインの会が多かったが、最近は父が参加できる機会も増え、父同士の交流も増えていいと思っている。きょうだいも参加でき楽しく過ごしている」「勉強会やイベント時など、きょうだい児も一緒に参加させていただいている。きょうだいも楽しみにしている」「2か月に1回学習会があり、大変勉強になります」「12月に参加させて頂いたにぎやか保育は、兄2人もとても楽しむ事が出来、弟が通っている施設を見せてあげられたのが良かったです。こういう機会はとてもありがたいです!」「十分すぎるくらい行われています」「イベントを通してきょうだいでの交流ができ、家族みんな楽しみにしています」「様々な会や交流の場を設けていただいていると思います」
19. こどもや家族からの相談や申入れについて対応の体制が整備されているとともにこどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 はい 17 (100%) 意見・「いつも相談した事に対して早急に対応してくれている」「私が秋に一時的に不安になり、春からの体制も変えたいと申し出たとき、もやもやしている事があったらいつでも教室に遊びに来てとか、時間を割いて話を聴いて下さる。どの先生にポロッと話しても、本当に丁寧に対応していただき感謝しかありません」「困ったことはすぐに対応してくださり、ありがたいです」「申し入れすることはありませんがそうした場合はきちんと対応いただけるだろうな、という信頼があります」「相談事に対しての対応スピードも速く、的確な対応をいただけています」
20. こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。 はい 16 (94%) 無回答 1 (6%) 意見・「連絡帳、送迎時、足りない場合は電話など、情報伝達での配慮はされていると思う」「毎日のたより帳で伝達を行なっている」「連絡ノートでやり取りできます。また送迎時にお話もできます」「毎日の連絡帳、当番と面談月1回が、とてもありがたいです」「されていると思います」
21. 定期的に会報やホームページ・SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 はい 16 (94%) わからない 1 (6%) 意見・「紙での通信があり、たくさん写真つきで発信されていて、いつも楽しみにしている」「お便りが来ます。楽しみにいつも読んでいます」「オンラインでの発信はされない方針のようですが、それ以外の紙媒体で発信されていて、十分かと思っています」「定期的に通信の配布や自己評価の面談がありました」「おたよりを楽しみに読んでいます。写真付きで、様子がよくわかります」「されていると思います」
22. 個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか。 はい 17 (100%) 意見・「親子参加の行事等でも、SNSにあげないように注意されており、留意されている」「通信の写真はもっと笑顔のところものせてほしいと思います」「SNS等への掲載について毎回注意喚起があり、良いと思います」「されていると思います」

非常時等の対応

23. 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 はい 17 (100%) 意見・「事故・緊急・感染マニュアルはいただいております、日々目につきやすいファイルに入っている」「常に確認できるようになっており、ご説明もいただいております」
24. 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 はい 17 (100%)

意見・「定期的に避難訓練が行われている」「定期的に避難訓練が行われている」「以前避難訓練に参加させていただきましたが、子どもたちの事を考えて行動されていました」「定期的に行われています」「ひまわり通信の写真で、いろいろな対応や練習されており、子どもたちの安全面を考慮されていると思います」「訓練の結果報告されています」「定期的に行なわれています」
25. 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援がなされていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「行われていると思います」
26. 事故等（怪我等も含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 はい17 (100%)
意見・「あまりけがをして帰ってきた事がないが、熱が出た時などはすぐに連絡があり、説明なども詳しくしてくれる」「個別対応のマニュアルをいただいている」「今まで大きな事故はないが、何かあれば教えてくれる」「小さなことでもご報告をすぐにいただけていると思います」

満足度

27. こどもは安心感をもって通所していますか。 はい17 (100%)
意見・「小さい時から通所し、家族のような安心感で通っている」「職員のことを家族のように思っており、安心しているようです」「通うことをとても楽しみにしている。行くことを嫌がらない」「ひまわり教室のお友達や先生の名前をよく言っています」「保護者も子どもも信頼して安心して通所させて頂いています」「第2の家のように思っていると思います」
28. 子どもは通所を楽しみにしていますか。 はい16 (94%) どちらともいえない1 (6%)
意見・「週1回の利用だが、おむかえの車を見ると嫌がることなく、すぐに乗る」「送迎の車が見えると嬉しそうに窓からのぞいて楽しみにしている」「毎日お迎えが来るのを楽しみにしている」「最近はおむかえの時に泣かなくなり、少しずつ慣れて楽しんでいる様子がわかります」「ひまわり教室が大好きです」「クリスマス会の時、教室でいつも歌っている歌等のCDを頂いて、それを家で聞いた時、子どもがテンション高くリズムにのってずっと楽しそうにしているのを見て、教室の事が大好きなんだと実感しました」「先生のお迎えでいつも満面の笑み。張り切って手をつないでバスに乗り込みます。いつも楽しそうです」「週1回なので、よくわからないのですが、様子を見ると楽しんでいるのがわかります」「『明日ひまわり教室だよ』と言うとエヘーッと笑う。休日に車に乗ると、行先はひまわり教室だと思って、『ひまわりきょうしつ』と言う」「いつも楽しそうで、心おきなく過ごせていると思います」
29. 事業所の支援に満足していますか。 はい17 (100%)
意見・「遊びの中でもリハビリ要素もきちんとあり、楽しみながら本人もこなし、色々な経験もでき、すごく満足しています」「ひまわり教室に通うことができ本当に良かったと思います」「これからもよろしくお願いします」「先生方1人1人が本当に尊敬しかたない方々ばかりで、この間、当番の日にも子どもの体調不良で早退の時も、私に『お母さん、車温めてきて、教室の前に車、持ってきてください』と言われ、ハッとしたというか、こういう些細な気遣いが出来る先生方ばかりで感謝しかたないです。いつも本当にありがとうございます」「就園・就学など、子どもの人生の節目に悩むこともあります、ひまわり教室の支えがあれば乗り越えていける気がしています。いつもありがとうございます」「大満足しています」「とても満足しています。おかげ様で家族全員が安心して毎日を過ごすことができます」

(2)「職員からの児童発達支援事業所自己評価の集計結果」

表2 児童発達支援事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果 8人 ()内はパーセント

	はい	いいえ	無回答	合 計
環境、体制整備 (1～5)	39 (97.5)	1 (2.5)	0 (0.0)	40 (100)
業務改善 (6～10)	36 (90.0)	4 (10.0)	0 (0.0)	40 (100)
適切な支援の提供 (11～23)	98 (94.2)	5 (4.8)	1 (1.0)	104 (100)
関係機関や保護者との連携(24～34)	60 (93.7)	1 (1.6)	3 (4.7)	64 (100)
保護者への説明責任等 (35～44)	77 (96.2)	3 (3.8)	0 (0.0)	80 (100)
非常時等の対応 (45～53)	70 (97.2)	2 (2.8)	0 (0.0)	72 (100)
合 計	380 (95.0)	16 (4.0)	4 (1.0)	400 (100)

以下は、職員の意見及び、工夫している点・改善が必要だと思われる点です。

環境・体制整備

1. 利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。 はい8 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ホールと食事などで使う部屋と、広めの廊下、畳の部屋がある。広い方だと思う。 ・あいさつ、設定遊び、食事、排泄と、それぞれの場面にに応じて場所を分けて使用している。 ・廊下が広めなので、子どもたちが廊下を這ったり歩いたり走ったりして、楽しんでいる様子がある。
2. 利用定員やこどもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。 はい8 (100%) 意見・工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・20人の定員に4人という人員配置に、日によって、時間帯によって、さらに4～6人の職員（常勤・非常勤）が入っています。一人ひとりの遊びや食事についていねいに付ける配置になっている。1対1ということは無理でも、医療的ケアの子が多く来る日には職員の人数を増やすことも考えていきたい。 ・一人ひとりに細かく対応できるようにパートタイマーにも入ってもらいながら関わっている。
3. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、環境上の配慮が適切になされているか。 はい7 (87.5%) いいえ1 (12.5%) 意見・工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・建物自体がバリアフリーのもの。入口の段差がないが、子どもたちには分かりにくいところがあるかもしれない。また、靴を履く（脱ぐ）時にある程度の段差が必要かな、と思うこともあるが、子どもたちは次第に段差がなくても脱ぎ履きするようになっていく。 ・生活の場面にに応じて場所を変えながら保育をしている。部屋の入口に動物のしるしが付けてある。 ・トイレは車椅子が入るには狭いものになっている。隣接している十一屋交流館へ行けば、多目的トイレがある。
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 はい8 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・腹ばいで移動する子、這う子や歩き始めの子もいるので、きれいにしている。次亜塩素酸水やハイター希釈水で、毎日子どもたちが帰った後に拭き掃除をしている。次の日の朝にもう一度モップで床拭き、玄関の掃除、花を飾る等している。また、日頃から出したものをキッチンと片付けるよう、職員は意識している。
5. 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・子どもたちは自分の居たい場所で遊んでいる。
- ・落ち着いて過ごしたい場合は別室を用意する。急な発熱になった場合や午睡の子のために、午後に子どもたちが遊んでいる部屋とは別に、食事の部屋（食後に使っている）、和室や事務室などを使用している。

業務改善**6. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。**

はい5（62.5%） いいえ3（37.5%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・年度初めに日々に必要な役割分担をする。また、週に1回ある話し合いでさらに細かい係を決めて、職員全員で業務を行なっている。チームで仕事をしている場合、話し合いをすることが絶対に必要なので、意見を出し合いながら仕事をしている。振り返りもして次回につなげている。
- ・ミーティングに参加する職員としていない職員の情報量に差があるが、ミーティングノートなどで、できるだけ共有するようにしている。勤務回数が少ないパートさんとなかなか共有が難しい面がある。

7. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

はい8（100%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・教室では始めた頃からずっと、保護者と共に子どもたちのことを考えてきた。連絡帳のやり取り、送迎時にその日にあったことを伝える、施設内相談を月に1回行なっている、家族参加の行事の開催など、保護者と話すことが日々ある。それと毎年アンケートを実施し、結果を職員で共有したり、改善する点は早くに見直したりと、職員どうして確認している。
- ・評価表に書くだけではなく、直に言って頂くことも大切にしている。

8. 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

はい7（87.5%） いいえ1（12.5%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・毎週1回行っているミーティングにて職員は自分の意見や思ったことを言うように心がけている。年間の計画の話をした時に意見を出し合って進めている。業務改善の必要な場合には改善している。
- ・勤務時間、回数の少ないパート職員の意見を聞く機会が少ない。

9. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

はい8（100%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・正式なものではないが、2年に1回行なっている。大学の先生に、教室のやっていることを評価してもらっている。その結果は、教室だより・ホームページに載せている。
- ・評価をしてもらい、職員で確認をしている。変更すべきところは変更している。

10. 職員の資質の向上を図るために研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。

はい8（100%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・毎年1回外部の人も含めたレポート検討会や事業所内勉強会や研修等をしている。職員それぞれの行きたい研修にも参加している。虐待防止・感染症対策・救急法などの研修後には報告をして、職員で共有している。報告は教室だよりに掲載することもある。

適切な支援の提供**11. 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。**

はい8（100%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・毎年、年度初めに「活動計画（支援プログラム）」を作成している。それを、金沢市と法人のホームページに掲載している。

・その年度に利用する保護者全員に、学習会にて話をして、渡している。参加しなかった人には説明不足な面もあると思うので、施設内相談にて説明をすることもある。説明するように気をつけていく。
12. 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 はい 8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・子どもの育ちの様子に応じて作成している。作成した個別支援計画（教室ではまとめと言っている）は、職員で確認後、保護者に説明している。保護者に1部渡し、子ども1人ひとりの「ケース記録」に1部綴り、相談支援員に1部渡している。誰でもが確認できるようになっている。個別支援計画は2か月に1回見直しをしている。
13. 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 はい 8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・12. と同じ。作成した個別支援計画は、職員で確認し、共有している。2か月に1回見直しをしている。
14. 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 はい 8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・12. と同じ。週1回行なっている職員ミーティングで確認を行ない、職員間で共有している。改善すべきところは変更している。
15. 子どもの適応行動の状況を、標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 はい 6 (75%) いいえ 1 (12.5%) 無回答 1 (12.5%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・一般的な発達検査を入室時に行なっている。保護者からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用している。12. 13. 14. のように、話し合いを多く行い、一人ひとりの子どもについて、行動観察、対応の仕方、振り返りを行ない、次の関わりを職員間で考え行なっている。必要であれば、スーパーバイザーによる勉強会も行っている。 ・1年目の職員からは、「標準化されたツールは理解できていない」という意見もあった。説明していく。
16. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び、「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。 はい 8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・2か月に1度行っている支援計画の項目は、「日常生活（あいさつの様子・食事・排泄・午後の様子）」「体の動き」「手指の動き」「人間関係」「興味関心」「理解」「情動」「全体・健康」。この8つの面で、最近の様子をまとめ、各々ねらいを設定し、それに沿って支援をしている。
17. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 はい 7 (87.5%) いいえ 1 (12.5%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・各曜日に、1日のリードをする職員と、遊びのリードをする職員がいる。 ・設定遊びには大きく分けて、「主に体を使った遊び」と、「手指を使った遊び」の2種類があり、その中に12種類ほどの遊びがあり、職員で確認し合って毎日違う遊びを設定している。 ・前の週に次週の設定遊びの週案を立てている。週末に時間がない時は、週の始めに立案している。 ・週1, 2回来ている子にもいろんな遊びを経験してほしいので、偏らないように配慮している。 ・1日の様子と、遊びの様子は毎日記録する。

・その記録をたどり、適切な関わりをしていたか、これからどのような支援が必要かなどを、職員間で話し合い、日々の保育をしている。 ・活動や日常生活に沿って、目標をスモールステップで立てて、支援している。変更を行なう場合も職員間で確認して変更している。 ・2か月に1度見直しを行なっているが、個別支援計画以外にもその時々の子どもたちの様子を見ながら適宜振り返りを行っている。子どもの声を聴き、子どもの動きに合わせて柔軟に支援を行えるように努めている。このことは保護者とも共有している。
18. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 はい8 (100%) 意見・同じ遊びをしても、リードする職員が変われば、違った遊びになっている。 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・17. と同じ。教室では設定遊びを含め、子どもたちが「遊ぶ」ことをとても大事にしている。活動プログラムは子どもたち一人ひとりの課題を「まとめ」で確認しているので、それを頭に置きながら、子どもたちからの動きを大切にしながら、職員たちは遊びの素材・出し方・手伝い方などを気にして遊んでいる。固定化しないように十分工夫をしている。
19. こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 はい8 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・設定遊びを行う際にも、1日の中でも、意識して行なっている。これは、ごく当たり前のこととして、ひまわり教室では行なわれている。みんなで活動することで、「順番」「待つ」「他の子の様子を見る」などのねらいを伝えている。
20. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。 はい8 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・17. に書いてあるように、1日の担当職員が始まりの「打合せ」を、その日に参加する人たちで集まって行なっている。 ・みんなが見られるように、毎日、1日の動き（送り迎えに乗る子どものことや、職員の動きなど）を、紙に書いて張り出している。遅番の職員は、その紙を見て確認している。
21. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか。 はい5 (62.5%) いいえ3 (37.5%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・支援終了後には翌日の迎えの確認等を行っているが、職員の勤務の時間帯がずれている（8:30～19:00までの勤務なので毎日メンバーが違う）ので、全員参加はできない。 ・気になった点・共有すべき事項・重要事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりすることは当たり前のこととして行なわれている。ラインなども使って共有を心掛けている。気になったことは子どものケース記録に書いたり、週に1回行っているミーティング時に確認する。共有はできている。
22. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 はい8 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・17. 以降に書いてあることと同じ。
23. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。 はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・17. 以降に書いてあることと同じ。

関係機関や保護者との連携

24. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。

はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・している。

25. 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。

はい7 (87.5%) いいえ1 (12.5%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・医療関係とはあまり関わりがないが、連携が必要な場合は、病院でのカンファレンスに参加したり、行政とも連携をとったりして支援を行っている。

26. 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、支援内容等情報共有と相互理解を図っているか。

はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・併行利用している子どもたちの中には、保育所等訪問支援も行っている子がいる。その子たちは通っている園へ訪問し、園の先生たちと支援内容等を共有している。また、この支援を受けていない子どもたちの園へも訪問して支援内容を共有している。インクルーシブ保育は、ひまわり教室が発足当初から行なっていることである。
- ・職員と1対1で近所の幼稚園と交流保育も行っている。幼稚園の子たちが教室に遊びに来ることもある。
- ・通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。必要があれば、出かけて行って引き継ぎをしている。その後、保育所等訪問支援事業につながる人もいる。

27. 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。

はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・通っている子が次に行く学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。
- ・最近は学校から教室に、就学する子の様子を見にくることも多くなった。
- ・教育委員会が教室での子どもの様子を見に来ることもある。

28～30はセンター用。

31. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。

いいえ5 (62.5%) 無回答3 (37.5%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・していない。

32. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・26. に書いてあることと同じ。
- ・外出する時は、公共の場へ行く。公園や児童館へ行く機会は多い。近くの幼稚園の園庭で一緒に遊ぶこともある。

33. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

はい8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・送迎の時にその日あったことなどを話す。また毎日連絡帳（双方向）のやり取りをして、体調や出来事などを確認し合っている。家族の人と月に1、2回個人面談をしている。2か月に1回、保護者との学習会を行っている（テーマは子育て・就学就園・発達に関する学習、それぞれの思いを聴き合う等）。 ・相談があった時はいつでも話を聴くことにしている。 ・お母さんたちとは、個別支援計画について2か月に1回、課題について確認している。子どもの発達の状況や課題について共通理解できるよう努めている。
34. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。
はい8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教室でやっていることを伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解に努めている。家族の支援も子どもたちの支援同様、とても大切にしている。 ・2か月に1回、主に家族の人たちと学習会を行なっているが、自分の話を他の人に聴いてもらったり、他の人の話を聴いたりすることで、保護者の気持ちが落ち着いたりすることがある。 ・個人面談も行っている。
保護者への説明責任等
35. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。
はい6 (75%) いいえ2 (25%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・重要事項説明書・契約書（利用者負担のことなど書いてある）等、通室契約時に説明している。 ・支援プログラムは教室では「活動計画」といい、毎年1回出して、保護者の学習会で説明をしている。ホームページにも載せてある。入室時に説明しているが、上手く伝わっていないこともあるので、何度でも理解できるように説明が必要な時もある。注意したい。
36. 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。
はい8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・12. 以降に書いてある。年に6回行なう個別支援計画の見直しについては、保護者の確認を、面接の場で行なっている。時には家庭訪問をして説明することもある。
37. 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行ない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。
はい8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・36. と同じ。
38. 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ面談や必要な助言と支援を行っているか。
はい8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・33. 34. と同じ。
39. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。
はい8 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・2か月に1回父母合同学習会を行なっていて、それぞれの家族の話を聴く機会がある。 ・今年度も年2回、土曜日に「にぎやか保育（家族参加）」を行ない、父母祖母祖父、きょうだいに教室での遊

びに参加してもらい、楽しんだ。家族同士がつながることができるいい機会になっていると思われる。きょうだいどうしで交流する機会は取り立てて設けていないが、教室の行事に参加している様子を見ると、きょうだいの方が楽しんでいるのでは？と思える場面も、きょうだいどうしが仲良く遊んでいる様子も多くある。	
40. こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 はい8（100%）	
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教室では、保護者に対して、月に1～2回施設内相談の予定を組んで、教室に来てもらっている。それ以外の時の、保護者からの相談の申し入れにはすぐに対応するようになっている。	
41. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 はい8（100%）	
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・2か月に1回、「ひまわり教室だより（教室の様子だけでなく広く原稿を寄せてもらっている）」を発行している。全国にいる会員に発信している。教室だよりにより写真を掲載する場合は保護者に許可を得ている。紙ベースでの発信にとどめている。 ・「でこぼこ通信（教室の様子を知らせる通信）」を年に12回以上発行している。これは通っている家族にだけ発信されるもの。 ・教室のパンフレット、支援プログラム（年間活動計画）アンケートの公表はホームページに載せているが、子どもたちの様子は発信していない。SNSは行っていない。	
42. 個人情報の取扱いに十分注意しているか。 はい8（100%）	
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・十分に注意・配慮している。 ・写真を載せる時は確認を行なっている。 ・個人情報の取扱いに注意はしているつもりだが、これまで以上に気にかけていきたい。	
43. 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 はい8（100%）	
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・今まで書いてきたことと同じ。	
44. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 はい7（87.5%）　いいえ1（12.5%）	
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・今年度も、市民に向けて「共生の文化講座」を行なった。 ・地域住民を招待するなどは行っていない。教室の見学等はいつでも受け入れている。	
非常時等の対応	
45. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 はい8（100%）	
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・感染症対応マニュアル・BCP（防災マニュアルはここに入っている）の計画は、子どもが毎日持ってくる袋に入れてある。学習会で説明。 ・防犯については、緊急連絡用の電話の設置はしてある。感染症対応マニュアル・BCP、事故防止マニュアル、防犯マニュアルは、玄関に、誰でも閲覧できるようにしてある。 ・避難訓練は、毎月1回行っている。火災、地震、防災、防犯等に分けて避難訓練を行なっている。	

46. 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 はい 8（100%） 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・避難訓練は年に12回（毎月1回）行なっている。子どもの避難だけでなく、必要な物品を運び出す練習もしている。実施の様子は、「でこぼこ通信」に載せ、保護者に発信している。 ・隣接している事業所合同で行なっている年2回の避難訓練にも参加している。 ・機会があるごとに、備蓄品を用意している（テント・パーテーションなどがあるので、トイレ用の新聞紙と袋・水・車いす等足りないものを補充している）。
47. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 はい 8（100%） 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持って来る鞆に、常に入れている。1年に1回確認し直している。年の途中で薬が変わった時は、その都度確認し、日々のケースにも記録している。
48. 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 はい 7（87.5%） いいえ 1（12.5%） 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、対処の仕方を教えてもらって行っている。教室で出すおやつを出す時には保護者に確認を取っている。 ・医師の指示書の必要な子はいないが、医師の指示書に基づく対応が必要な場合は、指示書にしたがって行なっていく。
49. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、そのほか必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 はい 8（100%） 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・安全計画を作成し、それに沿って、毎月1回避難訓練、安全点検をしている。
50. こどもの安全確保に関して、家族などと連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等に周知しているか。 はい 8（100%） 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・年度最初の学習会で、災害時に安否確認を行うことや、避難訓練を毎月行なうことなど、説明をしている。「災害時の、それぞれの家族の避難場所の確認をして記載した医療ノート」「緊急時の動き方」に、子どもが持ち歩く鞆に入れてある。保護者のみなさんに毎年変更がないかの確認をしている。 ・事務室と台所に、110番通報装置が設置されたことは話している。
51. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 はい 7（87.5%） いいえ 1（12.5%） 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ヒヤリハット事例集を作成している。ヒヤリハット事案が起こった時は、その場で確認したり、予想して予防するための声掛けをしたりしている。小さなヒヤリもノートに記入するようにしていて、職員全員が書き込めて、見ることもできるように、事務室に出してある。 ・気づいたことはすぐに職員間で共有し、対策等その都度話し合い、また検証改善も気をつけている。 ・1年目の職員は「共有までは出来ていない」と書いているがそういう事案がまだないということもある。
52. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 はい 8（100%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・できる限り研修を受けたり伝達研修を実施したりしている。毎年、金沢市で行われるので、参加している。参加できなかった人に、レジュメが配られ、ミーティングで周知している。

53. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。

はい8 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもは児童発達支援計画に記載をしているので、保護者に個別支援計画の説明をする際に説明している。座位保持椅子の場合はベルトをしないことで、椅子から落ちてしまったりし、その方が虐待になる可能性もあることなので、身体拘束に当たるのかどうか分からないところだが、座位保持椅子にずっと座らせることがないように（そういう時間はないですが）したいと思っている。

(公表) 分析結果

基本的大切にしていること	工夫している・意識的に行っている取組	更に充実を図るための取組
1 - 希望する子はどの子ども受け入れる。 - 子どもの人権を守り、主体性を尊重し丁寧な援助を心掛けている。	- 障害の種別などに関わりなく、希望する子はどの子ども受け容れ、一人ひとりを大事に受け止め、その子らしく育ていけるよう援助している。 - 数か月ごとに一人ひとりの子どもの育ちについて振り返り、育ちの状態を確認し、課題を共有し合っている。 - どの子ども参加できるよう、遊びの内容や遊具について工夫を重ねている。遊びが一人ひとりの子どもの身体や心の育ちにつながるよう、一人ひとりの課題等に応じた関わり方や遊具の提供などを工夫している。 - 食事など生活習慣の面での育ちの様子を丁寧に把握し、必要に応じた介助や援助をしている。	- 子どもの援助の質をより深めていく。 - 子ども理解についてさらに学習を深めていく。 - 子どもたちの楽しめる遊びを増やしていきたい。
2 チームワークを大切にしてい、職員が協力し合っ子ども育ちの援助に取り組んでいる。	- 一人ひとりの職員が資質を高める努力をする一方で、ミーティングでの話し合いを大事にし、信頼関係に基づいたチームプレイができるように心掛けている。 - 子どもとの関わりにおいて悩む職員がいれば、その人の話をみんなて聴き、支え合っ取り組むようにしている。 - 年に数回事例検討を行ない、子ども理解等について学習している。この場合は、職員どうしの理解を深め合う機会ともなっている。 - 職員がまとまりのある動き方をすることで、子どもたちが安心して活動できるようになっていると思う。	たがいの思いをよく聴き、互いを信頼し合い、それぞれが安心して動ける職場作りを心掛けたい。
3 家族のつながりを大切にし、家族と共に歩むことをベースにしている。	- 家族を「指導の対象」とは捉えず、一緒になって子育てをしていくパートナーと考えている。 - 家族と職員が信頼し合っ力を合わせていくことで、子どもの好ましい育ちが実現すると考え、家族と一緒に歩むことをとても大切にしている。＊個別相談（基本的には1か月に1回）、親の学習会（母親だけの集まり、父親だけの集まり、合同の集まり） ＊祖父母やきょうだいも参加できる行事（年に数回） ＊家庭訪問 ＊家族向け通信の発行 ＊おたより帳での連絡	- 話を聴く力をつけていきたい。 - 誰もが安心して話せる場作りを大切にしていきたい。 - 情報をより分かりやすく伝える工夫・努力をしていきたい。

4	・地域の保育所等や学校との連携。	・障害のある子どもたちが地域の保育所等や学校に入っていくのを援助し、入所・入学後も必要に応じて、保育所等や学校と連携している。 ・保育所等訪問支援事業を行なっている。 ・担当者会議への参加。	・就園・就学後も親子が安心して生きていけるように、必要に応じて援助していきたい。
5	・共生社会の実現に向けた取り組み。	・教育研究集会への参加（インクルーシブ教育や人権教育の研究集会に参加）。 ・地域の学校に入った子の行事参加の援助（遠足・合宿・修学旅行等）。 ・共生の文化講座の開催。（年1回） ・教室たより年6回発行。年1回父母の会文集『みちのりの発行』	・引き続き行っていく。

事業所が課題と考える点	事業所として考えている課題の要因	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点
1 ・フルタイム職員とパートタイム職員の情報共有が不十分。	・フルタイム職員は週1回のミーティング等を通じてかなりの情報共有ができていますが、パートタイム職員にはそれらが十分に伝わらないことがある。 ・一人ひとりの子どもの課題の確認が、パートタイム職員に伝わっていなかったりするために、時として混乱したりする。	・ミーティングを中心として活動計画などが作成・共有されていくため、ミーティングに出していない職員の意思が反映されにくい点があるのは否めない。ミーティング以外の機会にパートタイム意見等を丁寧に聞いて、少しでもそれが反映されるようにしていきたい。
2 ・児童発達支援センターとの連携。 ・医療機関との連携。	・必要があれば連携していくつもりであるが、今年度に関しては特に必要と思われることがなかった。 ・子どもについて医療機関との連携が必要な場合は適宜行なった。ただ、回数はそれほど多くなかった。	・必要に応じて連携していくようにしたい。
3 ・直近の情報共有がしにくい。	・職員の勤務時間にずれがあるため、その日にあった事柄について、その日に全員で情報共有することが難しい。	・毎日の朝の打ち合わせやミーティング等で情報共有するように工夫している。 ・職員がラインでつながっていて、その日の出来事や、次の日の予定等の連絡を取り合っている。

公表 事業所における自己評価表 放課後等デイサービス事業 令和7（2025）年度

事業所名	金沢市障害児通園施設 ひまわり教室			
保護者評価有効回答数	対象者数	8人	回答者数	8人
評価実施期間	2026年1月17日～2026年1月30日			
従業者評価有効回答数	対象者数	5人	回答者数	5人
事業者向け自己評価作成日	2026年2月9～14日			

(3) 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

表3 「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果」 8人

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	合 計
環境、体制整備 (1～4)	29(90.6)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.4)	32(100)
適切な支援の提供 (5～11)	53(94.6)	2(3.6)	0(0.0)	1(1.8)	56(100)
保護者への説明等 (12～22)	82(93.2)	0(0.0)	2(2.3)	4(4.5)	88(100)
非常時等の対応 (23～26)	31(96.9)	0(0.0)	1(3.5)	0(0.0)	32(100)
満足度 (27～28)	22(91.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.3)	24(100)
合 計	217(93.5)	2(0.9)	3(1.3)	10(4.3)	232(100)

(公表) 以下は、放課後等デイサービスの保護者のみなさんからの意見です。

環境・体制整備

1. こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。

はい8 (100%)

意見・なし

2. 職員の配置数は適切であると思いますか。

はい6 (75%) わからない2 (15%)

意見・なし

3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。

はい7 (88%) わからない1 (12%)

意見・なし

4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。

はい8 (100%)

意見・なし

適切な支援の提供

5. こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。

はい8 (100%)

意見・「色々なところに連れて行ってもらい、本人も楽しそうにしています」

6. 事業所が公表している支援プログラムは事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。

はい8 (100%)

意見・なし

7. こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていると思いますか。

はい8 (100%)

意見・なし
8. 放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 はい7 (88%) どちらともいえない1 (12%)
意見・なし
9. 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし
10. 事業所の活動プログラム（日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動。こどもの発達状況や障害特性に応じて柔軟に組み合わせて実施される）が固定化しないよう工夫されていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし
11. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域のこどもと活動する機会がありますか。 はい6 (76%) どちらともいえない1 (12%) わからない1 (12%)
意見・「子どもから児童館の話を聴いたりするので、たくさん機会を作って頂いていると思います」

保護者への説明等

12. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 はい8 (100%)
意見・なし
13. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 はい8 (100%)
意見・なし
14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム・ペアレント・トレーニング等が行われていますか。 はい6 (76%) いいえ1 (12%) わからない1 (12%)
意見・なし
15. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・「月に1回面談があり、その他にも何かあれば相談にのってもらっています」
16. 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 はい8 (100%)
意見・「いつも話を聴いて下さり話しやすいです」
17. 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 はい7 (88%) わからない1 (12%)
意見・「共感的に支援、というのがよくわからないので、わからない、にしました」
18. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 はい6 (75%) いいえ1 (12%) わからない1 (12%)
意見・「勉強会などがあり、他の親子さんの話を聴けたりできて参考になります」「きょうだいの支援や交流には参加したことがなくわかりませんが、上の子が小さい時からきょうだい児についても考えていけばよかったと思います。今6年生なので、集まりに参加するのがはずかしい年齢になってしまったので…」
19. こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されて

いますか。 はい8 (100%)
意見・「送り迎えの時や電話でも対応してくれて、いつでも相談しやすい環境であると思います」
20. こどもの保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし
21. 定期的に会報やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 はい7 (88%) わからない1 (12%)
意見・「教室だよりなどで日頃の様子を知ることができています」
22. 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし

非常時等の対応

23. 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等学校策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 はい8 (100%)
意見・なし
24. 事業所では、非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 はい7 (88%) いいえ1 (12%)
意見・なし
25. 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援がなされていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし
26. 事故等（怪我等も含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし

満足度

27. こどもは安心感をもって通所していますか。 はい7 (88%) わからない1 (12%)
意見・「今年度の利用は、本人の意思により、ほとんどなかったものの、いざとなったら、『行かないといけない』という抑止力になったり、親としても困った時の抛り所があると思えたりすることは大きな支えになっています」
28. こどもは通所を楽しみにしていますか。 はい7 (88%) わからない1 (12%)
意見・「嬉しそうにしています」「自分で準備するくらいに楽しみにしています」
29. 事業所の支援に満足していますか。 はい8 (100%)
意見・「子どもの気持ちを大切にしてくださっていて感謝しています」「満足しています」

(4) 職員からの放課後等デイサービス事業所自己評価の集計結果

表2 「放課後等デイサービス事業自己評価に関する質問の職員5人からの回答の集計結果」()内はパーセント

	はい	いいえ	無回答	合 計
環境、体制整備 (1～5)	22 (88.0)	3 (12.0)	0 (0.0)	25 (100)
業務改善 (6～10)	19 (76.0)	6 (24.0)	0 (0.0)	25 (100)
適切な支援の提供 (11～25)	60 (80.0)	13 (17.3)	2 (2.7)	75 (100)
関係機関や保護者との連携(26～35)	46 (92.0)	3 (6.0)	1 (2.0)	50 (100)
保護者への説明責任等 (36～45)	43 (86.0)	7 (14.0)	0 (0.0)	50 (100)
非常時等の対応 (46～54)	39 (86.7)	6 (13.3)	0 (0.0)	45 (100)
合 計	219 (81.1)	35 (12.9)	3 (1.5)	270 (100)

(公表) 以下、は職員の意見と工夫している点・完全が必要だと思われる点です。

環境・体制整備

1. 利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。 はい5 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・土曜日や長期休み中は、児童発達支援の子どもたちと一緒に過ごす。小さい子と大きい子と部屋を分けたり活動内容を別にしたりして工夫している。 ・放課後の利用は、小さい子はもう帰っているので、そのまま教室を使うが、着替えとおやつ、宿題を終えると、なるべく外の公園や児童館など、公共の場所で過ごすようにしている。 ・トイレは、小学校高学年になった子や体の大きい子は、大人用を使用させている。また、お姉さんお兄さんたちは別室で、着替えやおむつ替えを同性介助で行なっている。
2. 利用定員やこどもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。 はい3 (60%) いいえ2 (40%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・同性で介助できるように勤務体制を工夫している。 ・日によっては少ない時がある。
3. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、環境上の配慮が適切になされているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・フラットな構造で、電動車いすの子でも不自由なく過ごしている。 ・トイレが車いすユーザーが使うには狭い。
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっているか。 はい5 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・掃除・整理整頓、消毒を毎日行なっている。子どもたちの活動に合わせた空間ではあると思う。小さい子と分かれて外出することもよくある。 ・放課後利用の子どもたちは教室で着替えをした後は、なるべく公共の場で遊ぶようにしている。
5. 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用する自治が認められる環境になっているか。 はい5 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・本人たちのやりたいことを聴きながらやっているなので、そうしたい時は出来るようにしている。

業務改善

6. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 はい2（40%） いいえ3（60%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 広く職員が参画できていない。ひまわり教室全体としては行なっている。
7. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 はい5（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ つなげている。
8. 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 取り立てて機会を設けているわけではない。何かあれば、話し合っている。
9. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 はい5（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 正式な第三者評価は行っていないが、外部の人に評価をしていただいている。
10. 職員の資質の向上を図るために研修を受講する機会や法人内等で観衆を開催する機会が確保されているか。 はい3（60%） いいえ2（40%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 教室全体では確保しているが、放課後等デイサービスに特化しての研修の機会はない。

適切な支援の提供

11. 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 はい5（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 毎年、その年度の活動計画（支援プログラム）を作成して、ホームページに掲載している。
12. 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 はい5（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 毎年、家族から聞き取りをして、保護者の希望も聞いている。保育所、学校の様子も聞いている。それも参考に計画を立てている。
13. 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 計画をたてて、計画を基に、放課後等デイサービスに入る職員で話し合うことはあるが、回数が少ない。
14. 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 はい2（40%） いいえ3（60%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ 支援に入る職員は4～6人なので、その人たちに共有されている。本人の意向を聴きながらやっていることにおいては、計画に沿っていると思う。 ・ 共有する時間がなく不十分。
15. こどもの適応行動の状況を、標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。

はい4 (80%) いいえ1 (20%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・小学校に行った子に関しては、細かく行っていない。新しく利用する子には標準化されたアセスメントツールを使用している。年1回教室で作った聞き取り用紙（アセスメントシート）を使用して聞き取りを行なっている。
16. 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び、地域支援・地域連携のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・5領域のねらいを立てている。足りない部分もあると思うが、「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び、「地域支援・地域連携」については、本人、家族の意向を聴きながら対応している。
17. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 はい3 (60%) いいえ2 (40%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・その日の放課後等デイサービスの担当が、本人たちと相談して決めている場合が多い。放課後等デイサービスに入らない職員もいるので、活動の立案はチームでは行えていない。
18. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 はい5 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・本人の意向も聞くが、こちらからも提案して、相談して決めている。同じようなことをやりたがるが、チャレンジメニューも提案している。
19. こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 はい5 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・個別で遊ぶ時間とみんなで一緒に遊ぶ時間を作っている。みんなで活動することで、「順番」「待つ」「他の子の様子を見る」などのねらいを伝えている。 ・放課後利用の子は4カ月に1回、月に1回利用の子は6か月に1度見直しを行っているが、支援計画以外にもその時々の子どもの様子を見ながら適宜振り返りを行なっている。
20. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。 はい5 (100%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・曜日ごとに1日の担当職員が決まっていて、その職員が海朝1日の打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や職員の動き・役割分担について確認している。 ・職員間での声掛けや連絡をこまめにとっている。
21. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか。 はい1 (20%) いいえ4 (80%) 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・支援終了後には職員は揃っていないので、振り返りはできない。気になった点・共有すべき事項・重要事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりしている。
22. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 はい5 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ケース記録はしている。この記録を放課後利用の子は4か月、月に1回利用の子は6か月に1回まとめ、支援計画を作成している。子どもの課題を設定し、保護者にも説明をしている。必要な時は適宜、見直しをし、確認している。
23. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・22. と同じ。
24. 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行なっているか。 はい2 (40%) いいえ1 (20%) 無回答2 (40%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・「本人支援」としては、自分のことは自分で考えて動く（忘れものをしない、宿題をするかしないか、片付けをしてから遊ぶ、周りの人のことも考えるなど）等に促している。その日に何をしたいのかも含め、本人の意向を聞いて動いている。「家族支援」については、送迎時に話をすることが多く、個人面談を希望する人にはいつでもできるようにしている。「移行支援」については、できる時はその子の地域の児童館へ行ったりしている。「地域支援」については、そこまではしていない。地域のことは家族がまずはやるのが大事なので、そこを抜いて動くことはしたくないと思っている。その子を取り巻く状況は理解した上で、様子を見ながら、支援している。
25. こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行なっているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・24. にも書きたが、その子にとっては大切な「自分の人生」なので、ことあるごとに選択を提示し、選ぶようにさせている。選べる子になるには、選ばせる機会が多くないといけないので、なるべく選択できるようにして、自分で選んだ方を優先している。

関係機関や保護者との連携

26. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。
27. 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・連携が必要な場合は、すぐに出来るように体制を整えている。
28. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・下校時間のプリントはもらっている。家から下校時間の変更などは連絡をもらっている。
29. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 はい5 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・学校へ行った子の就学前に利用していた場所との連携はあまりとっていない。教室を利用していた子が引き続き利用することが多く、該当する子が少ない。
30. 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・必要であればする。あまりない。
31. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・していない。
32. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会はあるか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・公共の場所で遊ぶようにしているので、その場に来ている子どもたちと遊ぶ機会はある。
33. (自立支援) 協議会などへ積極的に参加しているか。 はい4 (80%) 無回答1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・自立支援協議会の委員として参加している。
34. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・子どもたちの送迎時に話をしている。子どもの課題については共通理解を持たないとやれないと思っている。
35. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・研修の機会等おすすしめはしている。参加するかどうかはそれぞれの家族に任される。 ・相談があった時はすぐに応えるようにしている。

保護者への説明責任等

36. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・重要事項説明書・契約書（利用者負担のことはここに書いてある）等、通室契約時に説明しているが、どこまで伝わっているかわからない。
37. 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益を優先考慮の観点からを踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・12. で書いたように、毎年、家族から聞き取りをしている。保護者の希望も聞いている。保育所、学校の様子も聞いている。個別支援計画の説明をし、同意を得る時に話をすることもある。
38. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行ない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 はい5 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・37. と同じ。
39. 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・送迎時などで話す。連絡帳のやり取りも行なっている。意見をお聞きした時には随時対応している。希望する場合に面談をしている。定期的に面接をしている人もいる。
40. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 はい3 (60%) いいえ2 (40%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・それぞれの家族の話を聴く機会はある。放課後等デイサービスの人たちには、あまり提供できていない。「つながりの会(親の会)」にお誘いしている。学校へ行くときょうだいたちも大きくなって、行事に参加することは少なくなる。
41. こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・何かあった場合はいつでも話を聴く。放課後等デイサービスの利用の人は、面談は希望があれば行なうことにしてある。
42. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 はい2 (40%) いいえ3 (60%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行している。つながりの会の便りも届けている。HPには教室のパンフレットと活動計画を載せてある。SNSには写真を載せることはしない。紙ベースのみでの発信としている。
43. 個人情報の取扱いに十分注意しているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・十分に注意・配慮している。 ・教室だよりに写真を載せる時は確認を行なっている。 ・個人情報の取扱いに注意はするが、これまで以上に気にかけていきたい。
44. 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・39. 41. と同じ。
45. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・今年度も、市民に向けて「共生の文化講座」を行った。 ・教室の見学等はいつでも受け入れている。
非常時等の対応
46. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 はい4 (80%) いいえ1 (20%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子どもが毎日持ってくる袋に入れてある。 ・訓練は行っている子といない子がいた。 ・事故防止・防犯については、緊急連絡用の電話の設置はしてある。
47. 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・放課後等デイサービスの子どもたちの避難訓練は年に数回行っている。子どもの避難だけでなく、必要な物品も運び出している。また、法人で行っている避難訓練にも参加している。 ・もう少し訓練のやり方を考えたい。
48. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 はい5（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持ってくる鞆に、常に入れてある。1年に1回確認し直している。年の途中で薬が変わった時は、その都度確認し、医療ノートに入れ替えている。
49. 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・今、医師の指示書をもらっている子はいない。 ・食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしていく。
50. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、そのほか必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・安全計画は立ててある。教室の周りの確認は計画に沿って行なっている。 ・緊急なことが起こった時の体制表は子どもが毎日持ち歩く鞆に入れてあり、病院や家族と連絡するようになっている。
51. こどもの安全確保に関して、家族などと連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等に周知しているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・安全計画は作成しているが、放課後等デイサービスの家族には完全には周知できていない。どこまで理解されているかはわからない。 ・車には「おきざり防止装置」が設置され、教室内には110番通知装置が設置されている。
52. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 はい4（80%） いいえ1（20%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ヒヤリハット事例集を作成している。作成だけでなく、その場で確認したり、予想して予防するための声掛けをしたりしている。職員全員が書き込めて、見ることもできるように、事務室に出してある。
53. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 はい5（100%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・研修を受けたり伝達研修を実施したりしている。毎年、金沢市で行われるので、参加している。きびしく自分たちの言動、行動を見直すことができるよう努める。
54. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 はい5 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもは児童発達支援計画に記載をしているので、保護者に個別支援計画の説明をする際に説明している。座位保持椅子の場合はベルトをしないことで、椅子から落ちてしまったりし、その方が虐待になる可能性もあることなので、身体拘束に当たるのかどうかかわからない。上半身に補装具をしている人もいて、1日中つけているのも苦しいと思われるので外す時間も作っている。また、座位ばかりでなく、寝た姿勢を取らせている。座位保持椅子にずっと座らせることがないようにしている。

(公表) 分析結果

基本的に大切にしていること	工夫している・意識的に行っている取組	更に充実を図るための取組
1 ・教室で着替えやおやつを済ませた後は、なるべく公共の場所へ行く。	・子どもたちの集まりそうな所(児童館や公園)で障害のない子どもたちがいる場所で遊んでいる。	・公共の場所で、障害のない子たちと遊ぶ機会をより多く作る。
2 ・本人に聞いて、相談して活動内容を決めている。	・出かける先や過ごし方等、その日に来ている子たちと相談して決めている。	・これからも本人と相談して活動していく。
3 ・チームワークを大切にして、職員が協力し合って子どもの育ちの援助に取り組んでいる。	・職員が資質を高める努力をする一方で、話し合いを大切にし、信頼関係に基づいたチームプレイを心掛ける。	・たかひの思いをよく聴き、安心して動ける職場作りを心掛ける。
・家族のつながりを大切にし、家族と共に歩むことをベースにしている。	・個別相談を希望者で行なっている。 ・就学の時期には、親の会「つながりの会」への参加を勧めている。	・放デイ利用の家族に向けた行事を開催できるか考える。(継続課題)
・地域の保育所等や学校との連携。共生社会の実現に向けた取り組み。 ・インクルーシブ保育・教育の推進。	・教育研究集会への参加。 ・地域の学校に入った子の行事参加の援助(遠足・合宿・修学旅行)。 ・共生の文化講座の開催。	・就園・就学後も親子が安心して生きていけるように、必要に応じて援助していきたい。

事業所が課題と考えている点	事業所として考えている課題の要因	改善に向けて工夫が必要な点
1 ・ごくたまにしか利用しない子どもの保護者との連携が弱い傾向がある。	・年に数回だけ利用する子どもについてはどうしても深い話ができないまま過ぎてしまう。	・そういう人たちとの連携を少しでも深めるため、保護者と話をする機会を作っていきたい。
2 ・放デイ利用の子全員には、避難訓練は行われていない。	・年に数回利用する子どもたちになかなかできない。	・トラブルや災害の対応についての意識の共有。
3 ・放デイをもっと利用したいという声に応えられていない。	・今の人員では精一杯のところがある。	・今後の課題とする。

公表 事業所における自己評価表 保育所等訪問支援事業 令和7（2025）年度

事業所名	金沢市障害児通園施設 ひまわり教室			
保護者評価有効回答数	対象者数	8人	回答者数	8人
保護者評価実施期間	2026年1月17日～2026年1月31日			
従業者評価有効回答数	対象者数	3人	回答者数	3人
従業者評価実施期間	2026年1月17日～1月31日			
訪問先施設評価有効回答数	対象者数	8施設	回答者数	8施設
訪問先施設評価実施期間	2026年1月17日～2026年1月31日			
事業者向け自己評価作成日	2026年2月23日			

(5) 保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

表5「保護者等からの保育所等訪問支援事業所評価の回答の集計結果」 () 内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	合 計
環境、体制整備（1～5）	33(82.5)	0(0.0)	0(0.0)	7(17.5)	0(0.0)	40(100)
適切な支援の提供（6～11）	44(91.7)	1(2.0)	0(0.0)	3(6.3)	0(0.0)	48(100)
保護者への説明等（12～24）	98(94.2)	2(1.9)	0(0.0)	4(3.9)	0(0.0)	104(100)
非常時等の対応（25～26）	12(75.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(25.0)	0(0.0)	16(100)
満足度（27～28）	15(93.8)	1(6.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	16(100)
合 計	202(90.2)	4(1.8)	1(0.2)	4(0.8)	0(0.0)	224(100)

(公表) 以下は、各問いに対する保護者のみなさんの意見です。

環境・体制整備

1. 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。 はい4（50%） わからない4（50%） ・「パズルなど、子どもに合ったものを提案用意してもらっている」
2. プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 はい7（87.5%） わからない1（12.5%） 意見・「面接用の部屋があります」
3. 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 はい7（87.5%） わからない1（12.5%） 意見・なし
4. 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 はい7（87.5%） わからない1（12.5%） 意見・「月に1回来てもらい、満足しています」「いつもいつ訪問するか伝えてくれています。私も幼稚園の予定表を渡しています」
5. こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いませんか。 はい8（100%） 意見・なし

適切な支援の提供

6. こどものことを十分に理解しこどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 はい8（100%） 意見・「学校での状況がわかり、学習やお友達との関係などが知れて、安心して学校生活を送っています」 「個々の特性に合った対応をして下さっていることを随所に感じる」「2歳10か月から通っている児

児童発達の先生なので、子どもの事をよく分かってくれています」
7. こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思いますか。 はい8（100%）
意見・「本人、家族の思いや願いが尊重されていると思います」「（問6と同じで）2歳10か月から通っている児童発達の先生なので、子どもの事をよく分かってくれています」
8. 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。 はい7（87.5%） どちらともいえない1（12.5%）
意見・「担任の先生からの質問にもすぐ対応してもらっています」
9. 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 はい5（62.5%） わからない3（37.5%）
意見・なし
10. 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 はい8（100%）
意見・なし
11. 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。 はい8（100%）
意見・「訪問先には配慮していると思うが、訪問先が支援者に配慮していない」

保護者への説明等

12. 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 はい7（87.5%） わからない1（12.5%）
意見・なし
13. 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 はい7（87.5%） どちらともいえない1（12.5%）
意見・「学校での状況も詳しく説明してくれて分かりやすいです」
14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※2）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。 はい8（100%）
意見・し
15. 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。 はい8（100%）
意見・「定期以外にもこちらから求めたタイミングではなしをいつでも聞いて下さり有難い」「訪問以外でも、何か気になることがあるとすぐに対応してもらっています」
16. 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 はい8（100%）
意見・「いつも相談できることで、とても助かっています」「月に1回面談があり、訪問以外のことも相談しています」「月に1回面談があります」
17. 業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 はい8（100%）
意見・「利用頻度は減ったものの、変わらずご支援いただき、何とかやっていけています。感謝しかありません」「とても共感的に支えていただいています」
18. こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されて

いますか。 はい8 (100%)
意見・「今年度は兄弟共に、また環境の変化が大きい中で、より一層思うようにいかず、衝突も多い年でしたが、時間帯に関わらず、緊急時にも対応して頂き、本当に助かりました」「月に1回面談があるし、困った事があるとすぐに対応してくれる」
19. こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・「送迎の際など、子どもの様子を教えてくれるし、連絡ノートがある」
20. 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・なし
21. 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 はい6 (75%) どちらともいえない1 (12.5%) わからない1 (12.5%)
意見・「幼稚園の先生からも、ひまわりの先生とのやり取りを話してくれる事もあります」「学校ともよく話し合いされていると思います(言いにくいことも含め)」
22. 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 はい8 (100%)
意見・「必ず訪問した時の様子を教えてくれています」「いつもくわしく報告いただいて、分かりやすいです」
23. 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 はい7 (87.5%) わからない1 (12.5%)
意見・なし
24. 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 はい7 (87.5%) わからない1 (12.5%)
意見・なし

非常時等の対応

25. 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 はい5 (62.5%) わからない3 (37.5%)
意見・「説明を受けているかもしれませんが、すみません、よくおぼえていません」
26. 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 はい7 (87.5%) わからない1 (12.5%)
意見・「説明を受けているかもしれませんが、すみません、よくおぼえていません」

満足度

27. こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。 はい7 (87.5%) どちらともいえない1 (12.5%)
意見・「学校のお友達もお話してくれて、みんな楽しそうです」
28. 事業所の支援に満足していますか。 はい8 (100%)
意見・「今後もお願いします」「満足しています。支援があることで、私も安心して学校に通わせることができます」「事業内容について深く理解しないまま利用させてもらっていますが、子どもの性格や行動をふまえて園の先生と対応等を考えて下さったり、少し先を見据えた助言を頂いたりして、心強く思っています」

(6) 訪問員からの保育所等訪問支援事業所自己評価の集計結果

表6 「保育所等訪問事業自己評価に関する質問の職員3人からの回答の集計結果」()内はパーセント

	はい	いいえ	無回答	合 計
環境、体制整備 (1～5)	10 (66.7)	0 (0.0)	5 (33.3)	15 (100)
業務改善 (6～7)	4 (66.7)	0 (0.0)	2 (33.3)	6 (100)
適切な支援の提供 (8～19)	26 (72.2)	3 (8.3)	7 (19.5)	36 (100)
関係機関や保護者との連携(20～26)	17 (81.0)	0 (0.0)	4 (19.0)	21 (100)
保護者への説明責任等 (27～36)	28 (93.3)	0 (0.0)	2 (6.7)	30 (100)
訪問先施設への説明等 (37～41)	14 (93.3)	0 (0.0)	1 (6.4)	15 (100)
非常時の対応等 (42～46)	9 (60.0)	3 (20.0)	3 (20.0)	15 (100)
合 計	108 (78.3)	6 (4.3)	24 (17.4)	138 (100)

以下は、職員の意見及び、工夫している点・改善が必要だと思われる点です。

環境・体制整備

1. 訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教材の必要な子と必要のない子がいる。もしその子に必要なものがあり、教室にない場合は、探すようにしている。購入もしている。訪問先に十分な教材はあるので、持ち込んでいるのは1件のみ。
2. 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・訪問先8件に対して、現在3人の訪問員で稼働している。主には1人で動いている。今受けている件数で月に1回ずつ訪問できている状況。予算上でもこの件数以上は難しい状況である。
3. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ひまわり教室としては、参画している。保育所等訪問支援としては不十分だと思う。
4. 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・昨年度から行っている。訪問に行った時は家庭訪問、施設内相談などをして、訪問先での様子や、今後のことなどを話し合っている。
5. 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ひまわり教室全体としては行っている。

業務改善

6. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 いいえ2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・していない。
7. 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・ひまわり教室全体として、研修の機会は多くある。

適切な支援の提供

8. 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。

はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・お母さんから依頼があった時に、大体の要望をお聞きする。まずは、お母さんが園や学校としっかりと話し合いをしてほしいと伝えている。そのうえで、担当者会議が必要だと思われる所とは、担当者会議を開いて、今必要な支援について確認し、共通認識を持つようにしている。訪問員自身は、一度の訪問で保育園や学校での様子を全体的に捉え、その時に必要だと思った支援について、再度お母さんと相談をする。インクルーシブ保育・教育を目指して、みんなの中で、その子にとっても周りの子にとってもより良い支援が出来るといいと思って作成している。

9. 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。

はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・行っている。

10. 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。

はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・担当者会議を開けるときは開いて、どんな様子が聞くようにしている。園側からの意向があれば、聞いて、一緒に考えている。できていない所もある。

11. 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。

はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・園の担任の先生や園長先生とは共有しているし、支援の確認も行っている。他の職員は行っていないが、ケース記録に報告書を綴っている。2カ月に1度の個別支援計画確認の際は、職員全体で確認行われる。

12. こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。

いいえ2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・していない。

13. 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。

はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・している。

14. 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。

はい2 (67%) 無回答1 (33%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・11. と同じ文章？

15. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。

はい3 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ひまわり教室全体としては、チームで連携して支援を行っている。
16. 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 いいえ 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・支援終了後の確認は訪問員が、訪問先から戻った、という形でしか取れていない。報告書で行っている。
17. 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・行なっている。訪問先のやり方を無視してはできないことである。
18. 毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・記録は徹底している。家族、訪問先に提出し確認している。
19. 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・話はしているし、見直しも行っている。

関係機関や保護者との連携

20. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・している。訪問員が参加している。
21. 地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 いいえ 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・できていない。
22. 就園・就学時の移行の際には保育所等や学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 はい 2 (67%) 無回答 1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・図っている。先生が教室に見に来ることもある。こちらからは文章にして提出している。時には話し合いも行う。担当者会議も行なっている。
23. 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 はい 2 (67%) 無回答 1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・させている。
24. (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 はい 2 (67%) 無回答 1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教室の職員が自立支援協議会の委員をしている。
25. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合いこどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 はい 3 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・持っている。
26. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 はい 2 (67%) 無回答 1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ひまわり教室は家族と共に、障害のある子のことを考えていく姿勢で親子と関わっており、子どものことと同等に(それ以上かもしれない)積極的に行なっている。
保護者への説明等
27. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 はい 2 (67%) 無回答 1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・事業を利用する際に、行なっている。
28. 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・行なっている。
29. 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 はい 2 (67%) 無回答 1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・設けている。話をする機会を持つようにしている。
30. 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・得ている。
31. 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・行なっている。
32. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・している。
33. こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。 はい 3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・している。
34. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 はい 3 (100%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・保育所等訪問支援では、情報をHPやSNSで発信することは難しいと考えている。家族に話をすることで共有している。 ・紙媒体で行っている。
35. 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・している。
36. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・連絡帳、送迎の際に話す、電話連絡、個人面接、親の会の学習会、講演会等を用意している。何かあればすぐに連絡し、対処している。

訪問先施設への説明等

37. 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・そういう場合があれば、行なっている。
38. 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・行なっている園と、行えない園とがあるが、できる限り、情報は共有している。
39. 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・すぐに連絡をするようにしている。
40. 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・十分留意している。
41. 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・質問には適切に応じている。具体的な方法も提示している。

非常時等の対応

42. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 はい0 いいえ3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教室では各マニュアルも策定し、毎月訓練を行なっているが、訪問の場合は教室に来ないので関係なくやっていない。各訪問先で行なわれている。
43. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教室では行なっている。でも、訪問支援にはあまり関係ない。

44. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 はい3 (100%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・教室としては行なっている。保育所等訪問支援でヒヤリハットがあった場合は職員と共有する。
45. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・市、県の研修の際には話し合いがもたれ、報告されている。
46. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 はい2 (67%) 無回答1 (33%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・児童発達支援計画に記載し、保護者とも話をしている。

(7) 訪問先施設からの事業所評価の集計結果 公表 8施設

表7 「保育所等訪問事業自己評価に関する訪問先からの回答の集計結果」()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	
1	5 (62.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	8 (100)
2	5 (62.5)	3 (37.5)	0	8 (100)
3	5 (62.5)	3 (37.5)	0	8 (100)
4	4 (50.0)	2 (25.0)	2 (25.0)	8 (100)
5	4 (50.0)	4 (50.0)	0	8 (100)
合計	23 (57.5)	14 (35.0)	3 (7.5)	40 (100)

以下は、訪問先の意見と評価です。

1. 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 はい5 (62.5%) どちらともいえない2 (25%) いいえ1 (12.5%)
意見 ・「具体的な支援の在り方について、よかったところ、課題、その改善策を示してもらっているので、参考になる。学校の取組を行う上で参考にしている」「児童の様子をみて、どう対処すればいいか、考えて教えて下さったことが、とても助かりました。ありがとうございます」「訪問支援員さんのアドバイスや助言は、ダウン症の子を理解するうえで、助けられています。ただ、支援員さんの本人への関わりに厳しさを感じることもあり、少し戸惑っています。専門性を持ったひまわり教室さんでの関わり方を、私たちなりに理解し、本人の成長につなげていきたいと思っています」
2. 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 はい5 (62.5%) どちらともいえない3 (37.5%)
意見 ・なし
3. 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 はい5 (62.5%) どちらともいえない3 (37.5%)
意見 ・「こちらから、質問することはなかったので、判断できませんでした」「特に質問することはなかった」「毎回書面で気づきを報告してくださったので、職員全体で共有しやすく、同じねらいを持った支援につながりました」
4. 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消 または軽減されましたか。 はい4 (50%) どちらともいえない2 (25%) いいえ2 (25%)
意見 ・「保護者のニーズがあり、訪問をお受けしています。保護者の方が満足であるのなら良いと思います。私たちは保護者の方の困り事が一つでもなくなるよう、訪問を含めサポートしている、という意識

です」
5. 事業所からの支援に満足していますか。 はい4 (50%) どちらともいえない4 (50%)
意見・なし
ご意見を踏まえた対応
インクルーシブな園・学校・社会の実現に向けて、引き続き園や学校を訪問させていただきます。子どものよりよい園・学校生活に助力できるようにしたいと思っています。

(公表) 分析結果

基本的に大切にして取り組んでいる点	工夫している・意識的に行っている取組	更に充実を図る為の取組
1 ・子どもを真ん中にして、家族の人と共に、活動している。	・家族と話すようにしている。課題についても確認している。 ・家族と園等や学校の先生と良い関係であることが大切なので、まずは園や学校としっかり話し合いをしてもらうようにしている。	・担当者会議を行なう。当人を真ん中に置いて、関係者で話し合う機会を増やす。
2 ・インクルーシブ保育・教育に向けて活動している。	・園・学校へ定期的(月1回)に訪問し、子どもの様子を全体的に把握する。1回ずつ課題の設定をしている。 ・ひまわり教室全体で、「共生の文化講座(講演会)」を年に1回開催している。	

事業所が課題と考えている点	事業所として考えている課題の要因	必要な取組や工夫が必要な点
1 ・事業所としては今以上の依頼を受けられないところ。	・予算を増やす努力が必要。	・担当者会議を開いていく。こどものことに関して、今後の取組について、共通理解をする。
2 ・話し合いができていない園・学校と、やりにくい園・学校がある。	・家族と共に、園や学校と話をしていく。	
3 ・訪問員同士で話し合いが少ない。	・昨年まで1人でやっていた。今年度は訪問員が増えたことで、話し合いの機会をつくらなければならなかったのに、作れなかった。	・定期的に訪問支援に関してのミーティングをする。